

はまなすの実

— 第 13 号 —

平成17年2月16日

北海道文教大学同窓会
「つるの会」

札幌市南区藤野400番地

北海道文教大学短期大学部内

TEL・FAX (011) 592-7636



「今 同窓会に求められること」

北海道文教大学同窓会

「つるの会」会長 北崎 迪子

厳寒の候にありますますが全国各地においでの方の会員の皆様には益々ご壮健にてご活躍のことと拝察申し上げます。日頃は同窓会の活動にご支援、ご協力を頂き有難うございます。

さて、北海道を含め大変暑い夏となった平成16年はアテネオリンピックに於ける日本選手の大活躍に沸き、又ここ北海道では第86回全国高校野球選手権大会に於いて駒大苫小牧高校が初めて津軽海峡を越えて優勝旗をもたらすという快挙に熱い夏でもありました。しかし、21世紀こそ世界平和をとの祈りも空しく、イラクを始めとして世界各地には激しい戦禍に逃げ惑う人々が居り、国内に於いては度重なる台風の上陸、度々の集中豪雨により受けた計り知れない多大な被害の傷が癒えぬままに、日本中に悲しみの陰を落とす新潟県中越地震が起こってしまいました。会員の皆様の中にも大きな苦しみの中で新しい年を迎えられた方も少なからずお出でではないかと心を痛めております。心よりお見舞い申し上げます。

新生同窓会「つるの会」として活動を始めて丸一年。生活の多様化もあってか会員同士の結びつきが希薄になりつつある昨今「会員相互の親睦を図る」という目的をより一層明確にしたいと役員一同で検討を重ねた

結果、遠隔地にお住まいの方、仕事が、子育てに多忙でとても・・・と同窓会への出席が出来ない方が何時でも参加して頂ける様にとホームページを充実することに力を注いで参りました。この度皆様楽しく読み、参加して頂けるホームページを開設することが出来ましたのでご報告致します。皆様と同窓会がより身近になる礎になることと信じて期待しております。

「地域社会に貢献するスペシャリスト」となる人材育成を目指していると仰る鈴木武夫学長のお言葉通り、各分野、各地域で活躍される皆様と共に「母校の発展」を陰から支える同窓会を築き上げて行くことを願いつつ歩み続けていきたいと思っております。年々減り続ける18歳人口ではありますが、どうぞやる気のある若者を母校に送り出して頂きたいとお願い申し上げます。

電話、ファックス、ホームページを活用されて積極的に同窓会に参加されると共に、来る3月19日に開催される同窓会には是非ご出席ください。本年は卒業生を迎えて「入会式」を行い、共に懇親会を楽しんで頂く予定になっております。

最後になりましたが、母校の発展と皆様のますますのご健康とご多幸をお祈り致します。

「つるの会ホームページをご覧ください」

ホームページをリニューアルしました。是非一度ご覧ください。皆様のホームページへのご意見・ご希望をお待ちしております。

ホームページURL <http://www.tsurunokai.ecweb.jp>
メールアドレス webmaster@tsurunokai.ecweb.jp



今、母校は頑張っています～既卒者の就職紹介も～



鶴岡学園理事長
北海道文教大学学長
北海道文教大学短期大学部学長

鈴木 武夫

卒業生の皆様お元気ですか。日々幅広くご活躍のことと拝察いたします。母校は、北海道女子栄養学校から数えて、今年創立63周年を迎えます。これも卒業生皆様の、温かいご支援ご協力の賜物と感謝申し上げます。

母校は現在、外国語学部・英米語学科・中国語学科・日本語学科、人間科学部・健康栄養学科（恵庭キャンパス）、短期大学部・幼児教育学科（平成17年度幼児保育学科に名称変更。札幌キャンパス）の2学部4学科1短大部で構成しています。そして、平成18年度に人間科学部に「理学療法学科」を増設するための準備を現在着々と進めています。北海道の興隆に寄与できる人材を育成する総合大学を目指して、一步一步確実に発展しています。今後も社会の要請に応えた学部学科を増設する計画も持っています。卒業生の皆様が胸を張って、堂々と活躍できるように母校は常に努力し、

頑張っています。

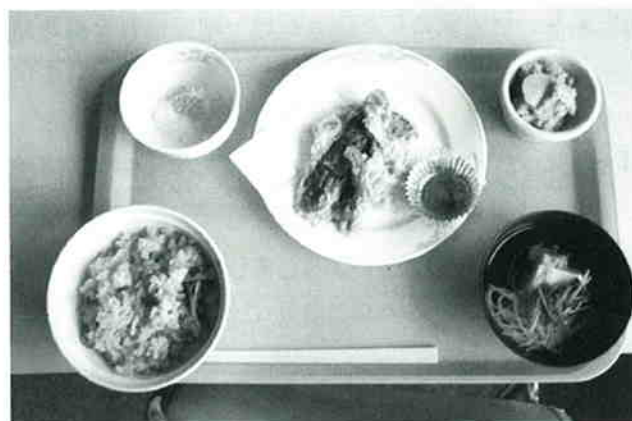
同時に、卒業生サービスの一つとして、「本学既卒者の就職紹介」を実施しています。卒業と同時に就職し、結婚、出産等で家庭に入られた卒業生が再び社会に出よう、或いは転職を考えているという時には、母校の就職課に相談してください。また、求人計画を持っている方も就職課を活用してください。母校は、「大切な宝である卒業生」が、社会で広く活躍し飛躍できるお手伝いを永遠に続けて行きます。

在学中に沢山の思い出を作られた卒業生の皆様、時間を作って、母校を訪ねてください。そして楽しかったこと、試験やレポートで苦しんだことなど、学生時代の思い出のあれこれを語り合ってください。ここ数年、卒業生子弟の入学が増えつつあります。“母校の門は卒業生にもご子弟にも常に開放されています。”

大学祭に同窓会として初参加

平成16年10月9日10日、恵庭キャンパスで、文教大学大学祭が開催されました。

外国語学部創設以来、恵庭キャンパスでは合同大学祭が行われるようになり、年々その規模を大きくしています。従来の栄養士課程は管理栄養士養成課程の健康栄養学科となり、4年制がスタートして、2年目を向かえています。そのために健康栄養学科では生徒数が本来の半数の人数しかそろっていなかったこともあって、今年は外国語学部の学生が中心で大学祭は運営されていましたが、今後は健康栄養学科の学生数が増え、2学部の協力の下、行われていくことでしょう。これまでの大学祭で卒業生がお手伝いすることや、卒業生が集えるスペースを用意していただくなどして、



卒業生が作った給食

きのご御飯、天ぷら盛り合わせ、生酢、ずんだもち、魚ソーメンのすまし汁

卒後は大学祭に参加している卒業生がおりました。私たち、「つるの会」役員会で、田中先生から大学祭開催のお話を聞き、同窓会から何か出来ないものか、という事になり、「つるの会」からの出店を役員会の中で決定致しました。出店と一口に言っても様々なスタイルがありますが、役員会の中心である栄養士の職能を活かせるものになろうということで、健康相談コーナー



恒例の学長餅つき

という名目で、学生、職員、一般の方々等全てを対象に、希望者の健康に関する相談を、栄養指導のような形式で行うことと致しました。役員会から、参加者をつのり、病院に勤務し日常の業務で栄養指導を行っているプロの管理栄養士を含め、延べ8名の栄養士によって、2日間で約150名の患者さんの相談を行うこととなりました。

本番前日には、問診表、ポスターを夜中までかけて完成させ、また日頃お世話になっている業者にも協賛をお願いし、大塚製薬からはアミノバリュー、江崎グリコからはカロリーコントロールアイスの商品サンプ



調理風景

ルを提供していただきました。それらを立ち寄っていただいた方たちに紹介、提供することと致しました。また学校の協力で血圧計を、株式会社アークレイからは血糖測定器をお借りして、来ていただいた方の、血圧や血糖値を測定し、健康相談の一つの指標としました。

来られた全ての方に満足していただけたか、自信の無いところもありましたが、栄養士を目指し在籍する学生には、栄養士の業務を垣間見る良い機会になったのではないかと自負しております。また、外国語学部の学生たちにとっても、学部は違っても、学校の先輩であり、同窓であることを意識してもらえるチャンスになったと思っています。

多くの先生方からも支援を頂くことができ、来年以降の参加にも快く賛同していただける結果となりました。ぜひ同窓会の定例行事として、毎年母校の大学祭



健康相談コーナー

には携わっていきたいものです。来年度の大学祭にも参加する予定ですので、参加希望者は同窓会までご連絡ください。また自らが企画した展示や出店も歓迎していただけるはずですので、そういった方も同窓会までご一報下さい。

また、昨年まで学生によって行われていた給食経営管理実習室での給食の提供を卒業生の有志により実施しました。2日目は昼過ぎに食券が完売となり、とても好評でした。

工藤鉄也 記(食37回生)

- ・参加卒業生
- ・健康相談コーナー

平成3年度卒 小松信隆

平成11年度卒 工藤鉄也

平成13年度卒 岩田康宏、伊丹悠、大谷崇、河合竜男

平成14年度卒 角田麻美、武藤美鈴

- ・給食

平成7年度卒 吉田陸、渡辺智英、加藤武、大東千晶

平成11年度卒 知工和善

平成13年度卒 道見亜弥子

平成15年度卒 細木恵、見澤千尋、堀裕美、松田由起子、谷地春美、樋口恵理、松本知春、本間千佳子

卒業生が同窓会に望むものとは何か

本年度は外国語学部が新設され6年目を迎え、2期生までが卒業し、また幼児教育学科からは共学になって初めての男子卒業生が保育士として保育の現場で活躍しています。さらに食物栄養学科は栄養士養成過程から管理栄養士養成過程へと発展し、健康栄養学科として新たに歩みだし3年目を迎えます。

昨年から同窓会役員に外国語学部卒業生も加わり、これまでに比べ今後の同窓会の活動は、卒業生との距離を縮め、卒業生に身近な存在になるように機能していく必要があると考えています。

このたびの会報の発行に向けて、各学科を代表する卒業後3年以内の同窓生に集まって頂き、同窓会の今後について、それぞれの立場で意見を伺いました。



同窓会の活動が卒業生と 大学にどう還元されるべきか

皆さんは同窓会の存在はご存知でしたか？

三人：いいえ。

司会：私は同窓会の存在は知っていましたが、その実態は知りませんでした。

卒業の1年後位に初めて会報が届いたんですが、最初は何かと思いました。

桐越：学校に会報があったと思います。受け取った記憶はないんですが。

八矢：恵庭校舎の玄関脇に置いてありますよね、ちゃんと読んだことはないですけど。

司会：会報以外にも恵庭校舎玄関のところには、いろんな冊子がおいてありますね。

学生が触れることはあまりないと思いますが。

在校生に同窓会のことを知ってもらうことは、これからの課題だと考えています。

学生に同窓会を知ってもらうために、何かいい方法ってあるでしょうか？

八矢：私の学生生活は2年間でしたから、今思うとあっという間でした。短い学生生活のなかで、就職の事で卒後のことは考えますが、それ以外のこと、まして同窓会のことを考えることは私を含めてほとん

出席者

中央 八矢絵美 平成13年度食物栄養学科卒
平成16年度管理栄養士国家試験合格

右 桐越裕樹 平成15年度幼児教育学科卒

左 前谷裕美 平成14年度外国語学部中国語学科卒

司会 工藤鉄也（会報及びホームページ委員）

写真 小松信隆（会報及びホームページ委員）

日時 平成16年12月27日

場所 シェラトンホテル札幌31階スターズバー

どの学生がなかったと思います。



前谷：ただその存在を知ることは、難しくないと思いますが、卒業が近くて、学校を離れるんだと思える時期でなければ、あまり自分のこととして意識しないと思います。入学した頃から卒業後のこととかを考えたり、まして自分が同窓会と関るって考える学生は、

ほとんどいないと思いますし。

八矢：新しい生活や環境に慣れることとか、他にたくさん考える事がありますからね。

桐越：入学した頃は、高校生活が終わったばかりですから、就職の事とか、将来のことは考えますが、それ以外にはなかなか目がいけないですよ。

八矢：卒業生の先生がいるので、漠然と社会にでた卒業生ってこういうものなんだと思う事はありました。同窓会の活動は、世代や学科を跨いで行っていくべき。

司会：卒業した先輩との接点が少ないのも事実ですね。同窓会の活動として、卒業式で卒業記念品を贈呈しています。卒業生に対しての接点はあるんですが、在校生や入学したての学生とは接点がほとんどないのが事実です。昨年度は、大学祭などの屋外行事で

使用する TENT を贈呈しています。大きく「つるの会」と書かれたものなんですけどね。そういった活動を通して、在校生にむけ同窓会は機能していると考えています。

前谷：外国語学部は私がまだ2期目なので、先輩と呼べる卒業生は僅かです。けど考えてみると、他の学部の先輩はたくさんいるんですね。

八矢：健康栄養学科は卒業生だけで1万人を超えていると聞いています。

桐越：幼児教育学科に比べて、数倍の歴史がありますからね。私は男子学生の1期生なので、同じ職種の男性はいないんですが、先輩はたくさんいます。

司会：在学中の先輩、後輩と意識できるつながりはありましたか？



桐越：少なかったですね。女の人が多かった事もあると思いますけど。学校としても男子学生を受け入れる態勢を試行錯誤していた感じがしました、私達の代で男子学生が7人で、全体の2%でしたから。

司会：縦のつながりが同窓会と在校生の接点のポイントになると思います。

同窓会は知ってもらっただけではなく、機能していかなければならないと考えています。

同窓会は卒後教育にも貢献できるのではないか。

今後、大学が抱える課題に「卒後教育」があります。仕事を通じ、ステップアップしていく中で、勉強は不可欠です。

前谷：OJT（職場内訓練）だけでは、壁って必ずあると思います。

八矢：知識だけでは、全てを補えないですからね。

桐越：教科書や、授業で学べる事には限界があると思います。仕事に就いてから学んだ事は、大学では学べなかった事だらけですから。

八矢：健康栄養学科を卒業して、栄養士免許を手にしても次のステップの管理栄養士資格があります。栄養士社会人は先ず次の目標は、はっきりしていると思います。けど資格を取り年数を積み上げただけで、全て解決するということはありません。

司会：短大卒の栄養士はほとんどが仕事をしながら、管理栄養士国家試験の受験勉強をしています。家庭を持っている受験生もいますし、その中から合格者もでていけるのも事実です。

前谷：社会に出て気づくことがたくさんあります。私は仕事から中国語を使う機会は数多くありますから、

もっと話せるようになりたい、学生のころにもっと勉強しておけばよかったなって、今になってよく思います。

司会：今からでも勉強は間に合いますよ。

前谷：知識だけじゃなくて、知識を活用する知恵とか、物事を組み立てるダンドリ力とか。応用力が必要になるんですよ。

八矢：仕事をしながら時間を割いて勉強するのは大変ですが、私ははっきりとした目標があったから、猛烈に勉強しました。先輩の管理栄養士の方々も皆さんそうだったと思います。

桐越：はっきりとした目標があれば頑張れると思います。漠然とした知識欲だけでは、なかなか勉強はできないと思います。まだまだ仕事を覚えている時期ですし、日々のことで時間も労力もたくさん使っています。

司会：同窓会が働きかける事ができることはたくさんあると考えています。学科の壁を越えたネットワークの構築や、世代間の交流の機会を作ること、また同職種であるなら先輩としての勤めを果たしていかなければなりません。例えば栄養士を例にとると、病院実習などを通じて、後身の教育は率先して行いましょうということが栄養士教育の中で謳われています。第一線で働いている卒業生からの、新しい生の情報もどんどん伝えていけます。ただその場が少ないように感じます。

大学をどのように活用するべきか。

八矢：大学の校舎を活用したり、先生達に協力してもらっこともできるんじゃないんですか？

司会：大学というインフラを広い意味で解釈すると、利用できるものがたくさんあると考えています。

前谷：先生の協力が頂けることも嬉しく思いますが、学生の立場に近い私達のような立場の卒業生が伝えられる事もたくさんあると思います。

桐越：近い世代でも環境が違う人たちの話には興味があります。同じ職種ではなくても、何かを解決するヒントって得られるものだと思います。同じ職種なら、より具体的に自分たちの今後のことなんかをイメージしやすいでしょうし。

司会：今回の座談会も卒後教育の一環と考えています。一つのテーマを多職種の視点で噛み砕き、そのエッセンスを、自分のものにする事も、日常で体験できないことですからね。

最後に三人それぞれに、これからの同窓会に期待する事、またこういう活動を行って欲しいということをお聞かせいただけますか？

八矢：栄養士の職域は、病院であったり、施設や学校、



食品を取り扱う企業だったり様々あります。栄養士に成り立てのころは自分がどういった道に進もうかと試行錯誤している卒業生も多いと思います。また自分が進みたい道があったとしても、その通りに進む事は 難しいです。職場を改めたいと思ったときに、大学

の先生を頼る卒業生の話を何人かに聞きますが、十分な情報がそこに集約しているわけではないと思います。先ほども触れましたが、栄養士課程の卒業生の数は膨大な数です。その多くの先輩の力をかりて、アドバイスを頂いたり、転職チャンスを頂いたり、そのような情報の集積を、同窓会のネットワークを使って行っていただければ、多くの栄養士にたくさんの可能性が生まれてくるんじゃないかと思えます。

前谷：私たちの学科の卒業生は専門職ではないので、様々な職域で仕事をしています。他の大学の同窓会で行っている活動の中で、卒業生ではなく在校生に向けての情報提供を行っている同窓会があります。学校での就職情報とはべつの就職情報の提供だったり、サークル活動の案内だったり。そのような活動は、在校生と卒業生の接点ですよ。全ての卒業生が求めることに応える事は難しくても、何かに困っている卒業生をサポートするシステムを同窓会が築

くことができないでしょうか？学校がその役割を担うことも大変だと思いますし、個人の力ではできないことで、ある程度のマスをを持った母体であるからできる支援を行っていただければと思います。

桐越：今回の企画は同窓会会報のために呼んでいただけでしたが、卒業生が自主的に集まったりすることはなかなかできないことだと思います。いままで知り合うことができなかった、他学科の方や先輩との接点ができたこと嬉しく思います。私たちが偶然にも代表ということで選ばれこういった機会を与えていただきましたが、他の卒業生にも同様にこのような機会が巡ればいいと考えます。私個人のことで、同窓会の活動を知ったことや新しい繋がりができたことは、今後に必ず生きてくると思います。同窓会の企画で一人でも多くの卒業生にこういった繋がりができるチャンスが生まれ、少しずつでも卒業生のネットワークが大きくなってゆくことに働きかけて欲しいと思います。



集まってくれた三人の言葉の中には、今後の同窓会活動のヒントがちりばめられていたと思います。今回の座談会をきっかけとして同窓会は卒業生の活躍をサポートできる活動を目指していきたいと考えます。

(第1回 北海道文教大学同窓会『つるの会』 座談会)
平成16年12月27日

平成15年度同窓会 総会・講演会

日時 平成16年3月13日(土)
場所 北海道文教大学



平成16年度事業報告

1. 同窓会名簿の整理・デスクトップパソコン購入
2. 卒業生への記念品 15年度 印鑑付きボールペン 449本
3. 同窓会入会式及びお祝い会
4. 会報の発行 会報「はまなすの実」第13号を発行 ホームページの充実
5. 支部の充実 16年度中に支部長会議を開催したい
6. その他 各学部・学科ごとに同窓生の卒業教育の一端を担う研修を開催していきたい (本年度は同窓会名入テント5張寄贈)

平成16年度予算

自 平成16年3月1日
至 平成17年2月末日

収入の部		(単位:円)
科目	予算	備考
前年度繰越会費	12,839,758 5,935,000	短大 129名×15,000円=1,935,000円 大学 200名×20,000円=4,000,000円
利息収入 名簿代	1,000 4,000	普通預金利息・定期預金利息 1冊
計	20,779,758	

平成15年度決算

自 平成15年3月1日
至 平成16年2月末日

収入の部				(単位:円)
科目	予算	決算	増減	備考
前年度繰越会費	2,283,625 6,690,000	2,283,625 16,025,000	0 9,335,000	短大 14年度 238名×15,000円=3,570,000円 15年度 257名×15,000円=3,855,000円 大学 14年度 212名×20,000円=4,240,000円 15年度 218名×20,000円=4,360,000円 普通預金利息 151円 定期預金利息12,471円
利息収入	500	12,622	12,122	普通預金利息 定期預金利息12,471円
名簿代 寄付金	8,000 960,000	0 0	△ 8,000 △ 960,000	2冊
計	9,942,125	18,321,247	8,379,122	

支出の部 (単位:円)

科目	予算	備考
総会及び懇親会 卒業記念品費	2,500,000 493,500	会場代・ビンゴ景品代・お祝いパーティー 329名×1,500円
印刷費 通信費	1,500,000 1,500,000	総会案内印刷・会報印刷・はがき印刷 電話代・切手代・総会案内発送・ 会報発送
事務消耗品費	300,000	事務用品・コピーカートリッジ代・ パソコン用品
会議費 交通費	500,000 500,000	役員会・委員会 (会報及びホームページ) 役員会・委員会 (会報及びホームページ)
アルバイト料 名簿整理費	250,000 200,000	事務の整理
研修費 予備費	600,000 50,000	講演会、講習会開催の為
基本金積立 次年度繰越金	5,000,000 7,386,258	
計	20,779,758	

支出の部 (単位:円)

科目	予算	決算	増減	備考
総会及び懇親会 卒業記念品費	600,000 490,600	129,917 319,872	△ 470,083 △ 170,728	ビンゴ景品代、会場代 手帳440セット 内訳 手帳カバー・手帳リーフ・のし箱 のし紙印刷
印刷費 通信費	1,500,000 1,500,000	649,217 1,040,093	△ 850,783 △ 459,907	総会の案内印刷・会報印刷、はがき印刷 総会案内・会報発送、電話代、切手代、 B I G L O B E 使用料
事務消耗品費	250,000	424,265	174,265	事務用品、コピーカートリッジ パソコン及び周辺機器
会議費 交通費	500,000 500,000	328,430 357,180	△ 171,570 △ 142,820	役員会・幹事会・会報編集委員会 役員会・幹事会・会報編集委員会
アルバイト料 名簿整理費	250,000 10,000	232,515 0	△ 17,485 △ 10,000	事務の整理
研修費 予備費	200,000 50,000	0 0	△ 200,000 △ 50,000	
基本金積立 次年度繰越金	2,000,000 2,091,525	2,000,000 12,839,758	0 1,607,441	
計	9,942,125	18,321,247	8,379,122	

基金造成について

協力者 161名
一金 3,785,060円
平成17年1月末日現在
ご協力ありがとうございました。

同窓会からの寄贈のテント



「平成16年度同窓会総会」および「卒業生を送る会」のご案内

下記の日程で平成16年度 同窓会総会を行います。また、今年度は後援会、学友会（大学）、学生会（短期大学部）との共同開催で同窓会入会式を兼ねた「卒業生を送る会」を行います。これから同窓会に入会する卒業生との懇親の場として、益々の同窓会と母校の発展のために企画致しました。多数の出席をお待ちしております。

日 時：平成17年3月19日（土）

16：00～ 同窓会総会 （同窓会会員のみ）

17：00～ 卒業生を送る会（新卒業生、父母、諸先生、同窓会会員）

ところ：札幌パークホテル （札幌市中央区南10条西3丁目）

参加費：5,000円

申込み：会報同封の葉書またはメール(webmaster@tsurunokai.ecweb.jp)でお申込みください。

締切り：平成17年2月28日（月）必着

住所変更届のメールフォーム化を充実しました

IT化が進む中、会員相互の重要な通信手段としてのホームページの充実を目指して、「会報及びホームページ委員会」では昨年よりホームページのリニューアル作業を行ってきました。今回のリニューアルは、住所等変更届のメールフォーム化、就職情報、会報のWEB化などを中心に行いました。今までは葉書やFAX等で頂いていた変更届の情報を直接データベースに取り込むことにより、会員情報管理が簡素化されました（従来通り、葉書やFAXによる変更も受付します）。もちろん、個人情報の保護の為にセキュリティは充実させております。また、会員の皆様の協力を得ながら、同窓生のため

北海道文教大学同窓会「つるの会」

副会長（会報及びホームページ委員） 小松 信隆

の就職情報をいち早く共有することや、ご希望の方にはWEB上での会報の閲覧が可能になりました。封書での会報が必要のない方はお申し出ください。これらのリニューアルにより、同窓会会員名簿の整理や支部活動の充実が図れるものと考えております。インターネットの閲覧が可能な方やメールアドレスをお持ちの方は是非一度、「つるの会」のホームページからメールアドレスをお知らせください。「つるの会」のメールアドレスもごございますので、質問やご意見等もお聞かせ頂ければ幸いです。

編集後記

同窓会会報「はまなすの実」13号をお届けしましたが同窓会の皆様にはページを開いて最後までお読み頂いただけでしょうか。前号でもお知らせ致しましたが新しいメンバーで作成しました第2号になります。今回は大学の伝達会報ではなく出来るだけ同窓会の活動を中心に編集致しましたが如何でしょうか。ご意見などお寄せ頂けましたら担当委員の励みになります。これからも新しいアイデア・企画で「楽しい会報」「読んで頂ける会報」を目指して努力を重ねていこうと思っておりますのでご協力をお願いします。

又この度同窓会のホームページも新しくなりました。会報はこのホームページでもご覧いただけますのでこちらの方も是非1度アクセスしてみてください。今回のご案内には総会の案内も掲載されておりますが年々参加される方が減少しています。当日は楽しい抽選会も用意しております。こちらも合わせて是非足をお運び下さいますようお願いしております。最後になりましたが同窓会会員の皆様のご多幸と同窓会「つるの会」が益々充実して発展していくことを願っております。

（後藤田倫子 記）

同窓会事務局 〒005-0840

（札幌市南区藤野400番地・北海道文教大学短期大学部内）

住所変更、氏名等変更の変更の場合はご連絡下さい。

直通専用電話

FAX (011) 592-7636番

会報及びホームページ委員

北崎 迪子（食3） 後藤田 倫子（食3）
小松 信隆（専5） 松木 寛美（幼17）
田中 律子（食12） 槌本 浩司（食26）
工藤 鉄也（食37） 黒澤 佳奈子（日本）